

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム こだなか	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 白山福祉会 ・代表者名 理事長 湖山 泰成 ・住所 川崎市麻生区白山1丁目1番3号	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員50人) 在籍者数 50人(平成30年3月31日現在:入院等不在者を含む)								
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
	利用者数	0	2	13	21	14	0	50	
	②通所介護事業(通所定員 15人/日) 年間延べ利用者数 2,565人:定員に対する稼働率66.7%								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	177	242	232	210	243	231			
延べ利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
延べ利用者数	214	194	195	178	218	231			
③短期入所事業(定員 2人) 年間延べ利用者数 924人:稼働率87.9%									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	55	71	65	64	72	53			
延べ利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
延べ利用者数	82	103	98	109	79	73			
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成30年3月分)									
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計		
管理者数	24	18	10	5	4	0	61		
収支実績	①特別養護老人ホーム事業 (収入)				①特別養護老人ホーム事業 (支出)				(単位:円)
	介護料収入	155,345,743			人件費	137,857,812			
	利用者等利用料収入	37,235,301			事業費	37,765,953			
	その他の事業収入	4,695,277			事務費	20,684,875			
	合計	197,276,321			合計	196,308,640			
					(収支差額)				967,681
	②通所介護事業 (収入)				②通所介護事業 (支出)				
	介護料収入	23,026,030			人件費	26,962,661			
	利用者等利用料収入	2,458,550			事業費	5,592,311			
	その他の事業収入	1,076,929			事務費	3,436,139			
	合計	26,561,509			合計	35,991,111			
					(収支差額)				▲ 9,429,602
	③短期入所事業 (収入)				③短期入所事業 (支出)				
	介護料収入	8,003,996			人件費	7,481,382			
	利用者等利用料収入	2,053,678			事業費	1,865,355			
	その他の事業収入	623,850			事務費	1,169,442			
合計	10,681,524			合計	10,516,179				
				(収支差額)				165,345	
④居宅介護支援事業 (収入)				④居宅介護支援事業 (支出)					
介護料収入	10,317,614			人件費	12,257,024				
利用者等利用料収入	0			事業費	151,335				
その他の事業収入	313,162			事務費	686,834				
合計	10,630,776			合計	13,095,193				
				(収支差額)				▲ 2,464,417	
(収入)				(支出)					
介護料収入	196,693,383			人件費	184,558,879				
利用者等利用料収入	41,747,529			事業費	45,374,954				
その他の事業収入	6,709,218			事務費	25,977,290				
合計	245,150,130			合計	255,911,123				
				(収支差額)				▲ 10,760,993	
サービス向上の取組	○「お客様の暮らしの向上の実現」を目標に、入居者の日常生活動作、生活をチェックして仕様書を作成。個々の状態に応じて対応したことで残存機能を生かして、機械浴から個別浴に切り替える利用者を増加させる等の成果を得た。 ○積極的にトイレへの誘導を行うなど、褥瘡予防に積極的に取組み平成28年7月以降褥瘡の入居者は皆無である。 ○感染防止委員会メンバーによる「汚物室」「廊下」「居室」等のチェックリスト作成など衛生面の向上を図って「ノロウイルス」「インフルエンザ」の発症者を出さなかった。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>利用者の食事は全て直営調理にて対応しているが、通所事業において、家族のニーズを察知し夕食サービスの提供体制を整え開始して、家族の負担と利用者の孤食の軽減、また、収入増加にもつなげた。</p> <p>介護情報公表サービスの受審・公表や家族に「こだなか通信」を発送、入居者へのアンケート調査の実施と結果の館内公表等情報提供に努めている。</p> <p>「地域とよりいっそうつながり、お客様の暮らしにつながるような取組」という目標を設定して傾聴ボラ、音楽ボラの受入れ、敬老の日に保育園児との交流の他、地域貢献事業として施設の開放(近隣老人会の手芸、麻雀クラブに年間延べ利用者144名)や、川崎市立中央支援学校の校外実習(毎週月曜日、木曜日それぞれ4名(年間延べ400人超))の受け入れをした。</p> <p>感染防止委員会メンバーによる、「汚物室」「廊下」「居室」等チェックリストにより衛生面の向上を図った結果「ノロウイルス」「インフルエンザ」の発症はなかった。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>オムツ外し等の取組から、使用物品の適正化、紙おむつ類の使用量を平準化しコスト削減につなげた。</p> <p>収入増加のための取組として、新規の利用者の確保にむけ、地域の居宅介護支援事業所との信頼関係づくりを努めた。また、入居者について「栄養ケアマネジメント」の加算を取得し収入増加を図った。</p> <p>利用者の食事は全て直営調理にて対応しているが、通所事業において、家族のニーズを察知し夕食サービスの提供体制を整え開始して、家族の負担と利用者の孤食の軽減、また、収入増加にもつなげた。</p> <p>施設に出納職員、会計責任者を配置し、毎月法人本部の業務遂行監査を実施して適正な管理に努めている。法人内の会議等において利用統計など拠点毎の予算・実績状況を毎月確認。分析・課題抽出を含めた次月対応への周知等、迅速な対応に努めている。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>褥瘡予防に積極的に取り組み、平成28年7月以降褥瘡の入居者は皆無である。</p> <p>「口腔ケアの充実」を具体的な目標に掲げ、歯科医師、歯科衛生士、理学療法士、看護師と連携して「誤嚥性肺炎」の入院を減少させた。</p> <p>「お客様の暮らしの向上の実現」を目標に、入居者の日常生活動作、生活をチェックして仕様書を作成。個々の状態に応じて対応したことで残存機能を生かして、機械浴から個別浴に切り替える利用者を増加させる等の成果を得た。</p> <p>利用者の食事は全て直営調理にて対応しているが、通所事業において、家族のニーズを察知し夕食サービスの提供体制を整え開始して、家族の負担と利用者の孤食の軽減、また、収入増加にもつなげた。</p> <p>窓口、電話相談、ご意見箱の設置。毎月来所される「市からの介護相談員」、外部からのお客様やご家族を含めた方々からのご意見を集計し、全体会議等で報告・共有して施設運営に活かす方法をとっている。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>職員教育についてはOJT及び目標管理制度を導入し、個々の目標計画と実行状況、その成果を定期的に面談を実施することでフォローする体制をとっている。</p> <p>再委託業者に対する監視・確認に対しては自動更新せず年度終了で一般競争入札等の対応を推進している。</p> <p>安全管理については事故を未然に防止する為の内部研修の実施、多職種カンファレンスにて再発防止策を立て、事故防止対策委員会により、各部署に回覧・情報共有を図る体制をとっている。法人内施設統一フォーマット、事故対策マニュアルは施設の実態に即して見直し更新した。</p> <p>サービス内のコンプライアンスについては、虐待防止、感染症、身体拘束廃止など各種委員会の中で、「不適切なケアがないか」、「お客様のニーズ」に適合しているかなどを検証、施設内運営会議や全体会議等で検討している。介護給付等含めた加算取得の適合や人員配置への法令順守については、法人内でコンプライアンスシートを作成し、目に見える根拠として残るように毎月管理している。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	4	8
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>保守点検は、年間予定をもとに保守管理業者と適切に実施。</p> <p>業務日誌は、介護ソフトや独自の日誌との連動性を確認し、災害時などに迅速な対応ができるようにパソコン内及びサーバー内の決まったカテゴリーフォルダに保管、セキュリティー対策を講じて管理している。</p> <p>日常的に施設内の清掃、衛生管理に努めている。</p> <p>日常的な消耗品等については、過剰な在庫を持たないよう各フロア責任者が在庫や発注量を適切に管理している。</p>				

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

「地域とのつながり」強化は法人の事業運営の目的の一つでもあり、今後も、地域に認知され、地域に根差して地域住民・ボランティアと良好な相互交流を展開し、地域コミュニティの拠点となるような取組に期待する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
